

議会

だより

81

12月定例議会

平成22年2月
発行 佐呂間町議会



ゴシゴシッ、もっとこっちにすべってよー!! 「わんぱく広場・カーリング体験」1/13撮影

12月定例会

審議した議案 2～5 P 町長行政報告 6 P
一般質問 「政権交代による町行財政の影響について」
など3名の議員が質問 7～9 P

第8回臨時会/第9回臨時会

審議した議案/町長行政報告 10～11 P

議会ニュース

常任委員会現地調査 12～13 P

傍聴者からの声/あとかき

14 P



さろま

あなたと町議会を結ぶ情報誌

佐呂間町URL <http://www.town.saroma.hokkaido.jp/>

「議会だより」は再生紙を使用しています

第4回定例会

第4回定例会が12月17日と18日の2日間で開催され、一般会計と5特別会計の補正予算のほか7件の議案等審議を行い、1件の付託審査のほか、原案のとおり可決しました。

・審議した議案

佐呂間厚生病院の運営損失負担
金6864万円を計上！

期末手当削減により職員手当等予算削減！

審議した議案

予算

平成21年度佐呂間町一般会計補正予算 (第6号)

1億856万3千円が追加され、予算の総額が54億445万6千円になりました。

- 【主な歳入】
- ・普通交付税 7778万1千円
- ・地域活性化・経済危機対策臨時交付金 2239万7千円
- ・防災情報通信設備整備事業交付金 266万2千円
- ・国鉄湧網線代替輸送確保基金繰入金 370万6千円

【主な歳出】

- ・重度心身障害者医療高額療養費戻入金 226万5千円
- ・給料 235万8千円減
- ・職員手当 1221万円減
- ・共済費 1165万2千円
- ・過疎バス路線維持費負担金 1173万5千円
- ・湧網線代替バス路線運行事業経費負担金 1670万6千円
- ・重度心身障害者医療扶助費 427万3千円
- ・佐呂間厚生病院運営損失負担金 6864万円
- ・全国瞬時警報システム設置工事 233万3千円
- ・教育総務費一般職給料 400万円

・介護サービス事業特別会計繰出金 223万7千円減

平成21年度佐呂間町簡易水道特別会計補正予算 (第5号)

70万9千円が追加され、予算の総額が4億8千万円になりました。

平成21年度佐呂間町国民健康保険特別会計補正予算 (第3号)

207万3千円が追加され、予算の総額が9億8307万1千円になりました。

平成21年度佐呂間町公営下水道特別会計補正予算 (第3号)

40万円が追加され、予算の総額が2億6108万8千円になりました。

平成21年度佐呂間町介護保険特別会計補正予算

【第3号】

11万円が追加され、予算の総額が4億9815万9千円になりました。

平成21年度佐呂間町介護サービス事業特別会計補正予算 (第2号)

223万7千円が減額され、予算の総額が2億1650万円になりました。

【主な歳入】

- ・一般会計繰入金 223万7千円減
- ・職員手当等 342万円減

条例

佐呂間町立佐呂間保育所条例の一部を改正する条例

第4回定例会

・ 審議した議案

例制定について

**佐呂間町立へき地保育所
条例の一部を改正する条
例制定について**

保育料について国の基準額が改正されたため、本町においても3人目の子の保育料を無料とするため条例の一部改正を行いました。

**佐呂間町安全安心まちづくり条例の一部を改正する
条例制定について**

既存条例の条文に犯罪被害者の支援に関する項目を追加するため、条例の一部改正を行いました。

**佐呂間町新規就農者誘致
に関する特別措置条例の
一部を改正する条例制定
について**

本年度制定された農業後継者に対する支援内容と従来からある新規就農者に対する支援内容の整合性を図るために当条例の一部改正案が提案されましたが、産業文教常任委員会に付託され、議会閉会中の継続審査となりました。
(質疑応答要旨下記に記載)

鹿被害対策について

【質】鹿被害でデントコーンの被害があると聞くが、町の対策は。

【答】今年はデントコーンの丈が長くなかったため、そこから鹿が入って、上の部分を食べてしまう被害があったが、すでに収穫期だったため、新年度に向けて駆除の対策を強化したいと考えている。

中学生姉妹都市派遣事業について

【質】今回の補正予算は、姉妹都市30周年ということ、子供が何名か増えて行くものなのか。

【答】パーマ市への派遣事業としては子供たちは例年通り中学生が4名で、職員が1名増員して行きます。

新規就農者に関する特別措置条例の改正について

【質】今回の改正は、今年制度化した農業後継者の支援と整合性を図るためとのことである。

この改正に伴い、農業開発公社だけでなく、農協での新規就農者も助成対象となり、今まであった助成のメニューから4つの項目を削除するというもの。

今回の農協の新規就農者の資料はないのか。また、親の基盤を引き継ぐ後継者と基盤がない新規就農者ではスタート自体が違つと考えるが。

【答】今回の改正においても1千万円の補助は残っており、全道的に見ても劣っていないものではない。

農協の新規就農は経費を安くしており個人負担が少なく済む。また、公社事業は5年後に一本立ちのところ、農協は2年間の研修後に実践に出られることになる。

【質】今までの助成内容は公社に限っているが、内容は他町村に比べ手厚かった。改正により新規就農者が入って来

なくなるのでは。

【答】農協の新規就農にしても担い手センターを通してのもので、農協の場合も公社においても同じ新規就農者と考えている。

今回、助成内容の4項目を削除するが、決して新規就農者の対策が後退するものとは考えておらず、これからは農業後継者も新規就農者も合わせて両輪の農業対策として進めていきたいと考える。

【質】佐呂間町の搾乳量がピーク時の5万2千トンから4万5千トンに下がっているが、それを検証した上で今回の制度改正か。

【答】乳量については、佐呂間町のみならず全道的に後継者難で下がってきているのは事実である。

これからは、新規就農者ばかりでなく、エターン、Uターンも含めた後継者に対する対策も必要であり、両方で担い手対策をやっていくということ、ご理解願いたい。

更に審議が必要ということとで産業文教常任委員会に付託となりました。

第4回定例会

・ 審議した議案

意見書

新たな食料・農業・農村基本計画の策定に関する意見書の提出について

来年度見直しとなる新たな食料・農業・農村基本計画については、専門的な担い手が夢と希望、意欲を持って持続的に農業生産活動や魅力ある農村生活を営むことができるような計画が必要である。WTO農業交渉や各国とのFTA交渉にあつては、食の安全や食料自給率の向上、国内農業の振興を損なうことがないとの政権公約に基づき、毅然とした態度で臨み、農産物貿易ルールについては、公平・公正なものに改める等を要望する意見書が可決され、関係大臣宛提出しました。

認定

平成20年度佐呂間町各会計歳入歳出決算認定について

第8回臨時会において、決算審査特別委員会に付託となつていた平成20年度佐呂間町各会計歳入歳出決算が認定となりました。
(審査報告要旨は5頁に掲載)

その他

網走地方教育研修センター組合規約の一部を変更する規約について
北海道後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の増減について

北海道市町村備荒資金組合を組織する地方公共団体の数の増減について
10月5日に湧別町、上湧別町が合併し、新たな湧別町が発足したことに伴い、一部事務組合等の構成町村の数の減



少により、規約等の変更が可決となりました。

町総合計画審査特別委員会を設置！

決議

町総合計画審査特別委員会設置に関する決議について

現在、第4期の総合計画策定に向け審議が進められていることから、議会においても特別委員会を設置すべく決議が提案され、全会一致で可決されました。
同日、議長を除く9名の委員による特別委員会が設置され、委員長には吉野委員、副委員長には安田委員が選任されました。

第1回定例会は3月に開催されます!!

日程の詳細は、町広報3月号の折込みチラシをご覧ください。



第4回定例会

・ 審議した議案

平成20年度
各会計

(単位：千円)

区 分	最終予算額	歳入決算額	歳出決算額	収支差引
一 般 会 計	5,092,814	5,004,493	4,832,246	172,247
簡易水道特別会計	591,722	594,222	580,324	13,898
国民健康保険特別会計	884,428	904,984	867,794	37,190
老人保健特別会計	139,403	139,594	138,449	1,145
公共下水道特別会計	242,671	243,421	233,410	10,011
介護保険特別会計	480,740	483,134	468,158	14,976
介護サービス事業特別会計	203,838	208,123	200,099	8,024
後期高齢者医療特別会計	61,724	60,240	58,944	1,296
合 計	7,697,340	7,638,211	7,379,424	258,787

決算審査特別委員会審査報告(要旨)

行政の使命と効果を的確に把握し

柔軟かつ適正な行政の確立を望む

一般会計の決算状況は、歳入では前年度と比較して7.4%の増加であり、歳入の約54%を占める地方交付税が前年度と比較して7千9百万円程度増となっています。この増加分については普通交付税の再算定と特別交付税によるもので、普通交付税と臨時財政対策債振替分を含めた総額では、前年度よりも5千4百万円ほど増となっています。

窮迫した財政運営が強いられる中において、町税現年度課税分は、ここ数年一定の徴収率を確保しており、徴収業務の努力が見られるところでありますが、現下の長引く経済不況の影響を受け、民間企業の減収減益、個人所得の減少などから、税収が減少傾向にあり、納税についての不公平を解消し、未納者が増加しないよう適切な徴収事務の執行を望むものです。

また時効完成等による不能

欠損処分は、負担公平の原則からも納税意識の低下につながるまいよう、慎重かつ適正に処理が行われるよう、留意を要するものと思われれます。

平成20年度の財政運営は、世界同時不況による景気の減退、自立に向けた行政改革の中、使用料の値上げ等町民の協力を得て一定の成果があったところですが、地方交付税が減少する中で、補助金・交付金、町債等の財源を確保し、歳出においては、人件費をはじめとする消費的経費の削減、指定管理者制度を活用した経費の抑制など種々の施策を実施し、限られた予算の中で効率的な財政運営が図られたものと認められるものであります。

今後においても地方自治体の自主自立的な行政を行う上で、国内経済も100年に一度の経済危機の影響により、回復の兆しが見えず雇用情勢

も依然として厳しい局面が続いており、特に地域経済は更に悪化の傾向を強めております。

地方自治体においては本年度から本格施行となった「財政健全化判断比率」等により市町村財政の健全性が公表され、指標が超えると財政健全化団体や財政再生団体となつて、行政サービスの制限を招くなど以前にもまして難しいかじ取りを迫られています。

本町においても、厳しい財政運営を余儀なくされており、町民、議会、行政が更なる危機意識を共有し、行政の使命、費用とその効果を的確に把握し、緊急性、将来性、効率性を熟慮し、新たな諸課題に柔軟かつ適正に因應される行政の確立を望むものであります。

以上、所見を申し上げますが、本特別委員会の審議結果は、認定であります。

第4回定例会

町長より行政報告がなされました。
(内容は要約して掲載しています。)

・町長行政報告

町長行政報告 (要旨)

農業情勢について

春先の天候には恵まれたものの成長期の異常とも思える長雨、低温、日照不足による影響が作物全般に及び、収穫期の作業にも苦勞が多く天候に泣いた一年でありました。

秋まき小麦は刈り取り期に天候に恵まれ何とか平年並みの収量を確保できました。

ビートは収量は下回ったものの糖度が高いことで、販売額は計画に近い額との見込みです。

特産物のかぼちゃは大きく減収となり、その他の作物も総じて平年を下回る結果で、農産物全体の農協販売計画、16億2千万円に対し、実績で

平成21年は天候不順だったが、農業販売額は計画近く持ち直した。漁業は非常に厳しい状況！

は14億7千万円程度との報告を受けております。

畜産関係では、昨年来の配合飼料価格の高騰はやや高止まりの状況にあります。

生産乳量は乳価が高くなつたことで生産意欲が増し、農家個々の生産量は増えたものの、搾乳戸数の減少分までは補えず、目標を若干下回る4万5千トン程度の見込みとなり、残る四半期での生乳増産に期待するところです。

酪農畜産の販売計画額59億3千万円に対し、個体販売の好調も手助けして実績額では60億4千万円という結果となりました。

農業販売額全体では、計画75億5千万円に対し、実績では75億2千万円程度と見込まれており、天候不順に苦しみながらもほぼ計画に近い販売額に終わり安堵しております。

漁業について

外海ホタテ漁業は、9千200トンの計画でスタート、

12月20日頃まで操業の予定ですが、時化のため出漁日数が少ないことから500トンの未達成となったほか、オホーツク海内の餌不足から貝柱の歩留まりが悪く、キロ単価100円の計画に対し94円と落ち込み、近年にない不漁と予測されるところです。

養殖ホタテ漁業は、近年にない高歩留まりで、キロ145円に対し、実績157円となっており、

養殖力キ漁は、ほぼ平年並みとなりました。

さけ定置漁業は、さけ、ますセンターの来遊予想が外れ、昨年より30%増の漁獲高となったことが経営の一助となっており、

本年の総水揚げ額は、ほぼ計画通りの18億円台となる見込みであります。

公共事業の執行状況について

工事、委託関係の事業は62件で、計画全てが発注されており、一般、特別両会計の契約金額は6億1千万円となり順調に進められております。

道管土地改良事業の執行も各地区画事業とも計画通り進んでおります。

町有林事業は全て完了しております。



第4回定例会

3名の議員が理事者の考えを質しました。

・一般質問

一 般 質 問



安田 一彦 議員

【質問】

政権交代により国政の方向が不透明、不確定の時ではあるが、佐呂間町の行財政運営に対し、次に掲げる問題にどう影響するのかわからせうか。

まず一つ目に、農地集積加速化基金の廃止による町行財政と担い手事業への影響はどうか。

【答弁】（町長）

この基金については、農地の貸し出しをしやすくするため、農地の貸し手に対して助成をし、農地の集積を促進させる事業であるが、貸し手に助成するより借り手農家の支援を重視すべく執行停止対象に掲げられているが、本町には直接影響は無いと判断している。担い手育成総合関係も問題なしと判断している。

政権交代により

町行財政はどうなる！

町長へ不透明な部分が多く現時点での

本町への影響は把握できない

【質問】

地方分権推進計画が策定され、保育所施設基準、小中学校の教職員の定数、病院の病床の算定基準の原則廃止、又は条例委任とのことであるが町に対する影響は。

【答弁】（町長）

全く不透明の中であり、地方分権推進改革計画と総括的に考えていただきたい。具体的な内容はまだ町村に示されていないが、保育所、学校編成、病院の病床について具体的な数字が出ていないことを理解して欲しい。

【質問】

北海道の補正予算は13基金の執行停止が懸念されることと報道されたが、本町の予算計画に変更が生じるのか。

【答弁】（町長）

13基金中、本町実施事業は

平成21年度は3基金で補助金総額785万8千円で、このうち一番金額が大きいのは緊急雇用創出事業特別交付金の676万1千円で森林組合に委託。事業完了したもの、実施途中のものがあるが、執行停止とはなっていないのが現状である。

【質問】

障害者自立支援法の廃止により本町の福祉行政に影響があるのか。

【答弁】（町長）

現在の障害者自立支援法では、受けたサービスに応じた一律一割の応益負担であり、サービスを受けた当事者の収入を上回るケースが数多く出ており、民主党のマニフェストではこれを解消するため、利用者負担を応益負担とする

障害者総合福祉法を制定するとされているが、今後5年間で制度を検討するとの方針なので、現時点では本町への影響は把握できません。

【質問】

本年度から父子家庭にも児童扶養手当が支給されるが、本町の対象世帯数と事業の内容はどのようなものか。

【答弁】（町長）

平成22年から支給する意向を示す報道がなされており、是非支給されることを願っておりますが、本町には内容情報は現在ありません。実現された場合、世帯構成、所得状況の把握など個人情報問題があり正確に把握できませんが、本町のひとり親家庭等医療給付事業の対象から判断すると、5世帯11人が対象と考えられる。

児童扶養手当制度の実施は支給の可否、支給額の決定を含め北海道から直接支給され、本町は申請書類の受付と進達の事務内容にとどまっている現状にあります。北海道から情報提供があれば制度内容については広報等にて情報の提供を徹底する。

第4回定例会

・一般質問

質問項目「福祉灯油について」は、紙面の都合により掲載を省略します。



但木早苗 議員

受領委任払い 制度の実施に ついて

【質問】

介護保険制度、国民健康保険制度を利用し福祉用具購入や住宅改修を行ったり、治療用器具等の購入の際には償還払いとなっておりますが、利用者の支払時の負担を軽減するため現行の償還払いに加えて、受領委任払いの実施についてお伺いします。

【答弁】（町長）

介護保険制度では、平成18年9月1日に介護サービス費等受領委託事務要領を施行し、2年間の実績は1件のみで、利用が少ないことから、制度の周知徹底を図りたいと考えています。

国民健康保険制度では、制度上町単独での受領委任払い

受領委任払い制度は 実施できるのか！

町長へ介護保険については

制度の周知を図りたい

制度はできないとのことであり
ます。

【質問】

介護保険制度では既にできるように
なっていたとのこと
ですが、要綱ができてから2
年間で1件のみの利用で、制
度の説明も受けなかったとい
うことを考えると利用者への
周知不足は否めないと思いま
すがいかがですか。

【答弁】（保健福祉課長）

年内にも商工会を通じて関
係業者へ、更にケアマネー
ジャーが利用者に制度説明を
しながら周知徹底し、この制
度の活用を図っていききたいと
考えております。

教育関係について

2010年度からの少人数
数学級の実施について

【質問】

津別町、湧別町が少人数学

実施できるのか！

制度の周知を図りたい

級を実施していますが、本町
に2010年度から実施の考
えがあるかお伺いします。

【答弁】（教育長）

子供達に基礎を身につけさ
せ生きる力を養うため非常に
有効であると考えます。佐呂
間小学校を対象として考え、
基本的には新1年生を基準に
してはどうかとの考えです
が、心配な学年（児童数の増
減）がありますので、学校現
場と十分協議し、教員の確保
という問題もありませんが、平
成22年度の中で導入を考えて
いきたいと考えております。

特別支援教育の通級指導
教室の通学費助成について

【質問】

1993年から国の補助対
象となる交通費を現在町は保
護者負担としていますが、た
だちに助成する必要があると
考えますがいかがですか。

【答弁】（教育長）

この制度については、教育
委員会としても今回の報道で
初めてわかったのが実情であ
り、大変申し訳ないと思っ
ております。

非常に分かりにくい要綱だ
というのには正直あり、公共交
通機関を利用するという今の国
の制度の中の補助活用は難し
いと思いますので、町単独の
方向で早急に詰めていきたい
と考えております。

除雪対策について

【質問】

除雪車が入った後の硬い雪
の除雪が大変という多くの苦
情の中で解決に取り組んだ玄
関前除雪の軽減、この紋別市
の方式を町でも是非取り組め
ないか伺います。

【答弁】（町長）

紋別方式は取れないという
中で、自治会にお願いし、近
隣の弱者の方々に手を貸して
いただき、町としては独居老
人を含めた福祉路線に全精力
をかけております。

また、基幹産業の農業、漁業
関係の集出荷についても遅滞な
く実施するというところで、ご理
解いただきたいと思います。

第4回定例会

・一般質問



三田 真美 議員

季節性インフルエンザの予防接種について

【質問】

現在、インフルエンザのワクチン接種回数は、13歳以上は1回、13歳未満は2回となっており、中学生の接種については町の助成はありませ

ん。
新型インフルエンザの流行により新型、季節性ともに接種する世帯もあります。中学生の2回接種対象者に町で助成するお考えはあるのか伺います。

【答弁】（町長）

季節性インフルエンザ予防接種の助成については、助成要綱を作成し該当する方に助成をしており、重症化予防の観点から季節性インフルエンザ予防接種については生後6ヶ月以上の乳幼児から小学

季節性インフルエンザの

中学生の助成は？

町長 次年度からは中学生まで助成対象を拡大したいと考えている！

生まで町独自施策として助成してきました。

新型インフルエンザの発生によって学校閉鎖など結果として冬休みを短縮しての授業確保も聞いており、何らかの対策が必要だと考えます。次年度からは義務教育である小学校はもとより中学生まで助成対象を拡大したいと考えております。

ふるさと商品券について

【質問】

ふるさと商品券は好評で今回も完売しますが、商品券がもたらす費用対効果について伺います。

また新しい消費者を発掘する意味で今後とも継続する場合は、他町村民への販売など視点を变えての販売などはお考えですか。

【答弁】（町長）

消費の町外流出が進み、地域のお金を地域に還元することが緊急の課題の中、町内から発生する税、資金などの町外流出を防ぎ、このお金を町内で循環すべく、町内購買促進対策としてプレミアム付全町共通商品券発行事業に補助してきました。

使用状況については、プレミアム付と通常のふるさと商品券とを合わせてですが、飲食料品で56・3%、次に石油、ガソリン関係で9・5%、飲食店6・1%です。費用対効果については、参加商店の全店調査が必要なため数値での把握には至っておりませんが、購入者のアンケートの回答では、景気低迷の中で商店の売り上げを少しでも伸ばしたいという意見も多くありました。

来年度の基本方針

について

【質問】

来年度の基本方針、または重点施策、予算規模について伺います。

【答弁】（町長）

地方財政計画が政権交代により不透明ですが、福祉部門の医師確保や病院に関わることなど将来的な支出のため無駄をなくし、これ以上町民負担を求めない措置を考えていきたい。

重点施策は、新規としては特別養護老人ホーム10床の増設と22年10月よりふれあいバスを開始します。継続事業は浜佐呂間の簡易水道事業、漁港整備事業等、更に道路交通網の整備や基幹産業の振興、福祉、生活基盤の整備にも積極的に取り組めます。

第8回臨時会

第8回臨時会が10月29日に開催され、一般会計補正予算のほか4件の議案審議を行い、付託案件を除き、いずれも原案のとおり可決しました。

第8回臨時会 10月29日開会

審議した議案

新型インフルエンザの予防接種に450万円を助成!

予算

- 平成21年度佐呂間町一般会計補正予算(第5号)
 - ・ 2353万6千円が追加され、予算の総額が52億9589万3千円になりました。
 - 【主な歳入】
 - ・ 普通交付税 999万8千円
 - ・ インフルエンザ費用軽減事業補助金 230万5千円
 - ・ 農業振興施設等整備事業費補助金 500万円
 - ・ 屋外スポーツ施設整備事業費補助金 590万円
 - 【主な歳出】
 - ・ 旧格技館解体整備工事 284万6千円
 - ・ インフルエンザ予防接種負担金 457万5千円
 - ・ 合併処理浄化槽設置推進事業費補助金 226万円
 - ・ 農業振興施設等整備事業費補助金 500万円
 - ・ 佐呂間町簡易水道特別会計繰出金 270万8千円
 - ・ 佐呂間町公共下水道特別会計繰出金 525万4千円
- 平成21年度佐呂間町簡易水道特別会計補正予算(第4号)
 - ・ 270万8千円が追加され、予算の総額が4億7929万1千円となりました。
 - 【主な歳入】
 - ・ 一般会計繰入金 270万8千円
 - 【主な歳出】
 - ・ 大共給水区減圧弁施設改修工事 270万8千円

その他

- 財産の無償貸付について
 - ・ 地上テレビ放送のデジタル化移行に伴い、民放4社に若佐テレビ中継局の施設を無償貸付するものです。
 - ・ 施設の所在地、種別、数量
- 平成20年度佐呂間町各会計歳入歳出決算認定は、決算審査特別委員会に付託され、議会閉会中の継続審査となりました。
- 平成20年度佐呂間町各会計歳入歳出決算認定について
 - ・ 免除する貸付料の年額 1337万円
- 平成21年度佐呂間町公共下水道特別会計補正予算(第2号)
 - ・ 1284万1千円が追加され、予算の総額が2億6068万8千円となりました。
 - 【主な歳入】
 - ・ 一般会計繰入金 525万4千円
 - ・ 前年度繰越金 758万7千円
 - 【主な歳出】
 - ・ 漁業集落環境整備事業工事 1284万1千円
- 貸付の相手方
 - ・ 北海道放送株式会社
 - ・ 代表取締役社長 渡辺 卓
 - ・ 札幌テレビ放送株式会社
 - ・ 代表取締役社長 島田洋一
 - ・ 北海道テレビ放送株式会社
 - ・ 代表取締役社長 荻谷忠男
 - ・ 北海道文化放送株式会社
 - ・ 代表取締役社長 新蔵博雅
- 送信所 字啓生25番地
- 受信所 若佐2053林班
 - ・ つ小班(国有林)
 - ・ 若佐テレビ中継局
- デジタルテレビ放送受信送信施設一式
- 貸付の目的 デジタルテレビ放送事業のため

第9回臨時会

第9回臨時会が11月25日に開催され、条例改正案3件と決議案1件の審議を行い、原案のとおり可決しました。

第8回臨時会

町長より行政報告がなされました。
(内容は要約して掲載しています。)

町長行政報告 (要旨)

遠軽厚生病院の医療機器等の整備について

先般、道厚生連及び遠軽厚生病院などの関係者が来町され、新型インフルエンザ患者への対応に伴う病室の整備等の施設改修にかかる整備費(2500万円)の助成要請と、先進医療と救急医療に即応した超電導磁気共鳴画像診断装置(MRI)の更新経費(1億5千万円)の助成要請がありました。

構成3町の体制が決定され次第、3町において検討したいと考えております。

子育て応援特別手当について

国は20年に引き続き、経済危機対策として幼児教育期の子供に対し、特別手当の支給を計画しておりますが、今般、新しく「子供手当」創設など子育て支援策を強力に推進することとしたため、今月15日をもってその執行を停止いたしました。

国は停止となりますが、本町では昨年より対象年齢を拡大して支給すべく計画してまいったことから、今後支給内容、金額などを再検討し、議会に提案したいと考えております。



第9回臨時会 11月25日開会

佐呂間厚生病院に関する特別委員会を設置!!

審議した議案

条例

特別職の給料額及び旅費額並びにその支給条例の一部を改正する条例制定について

佐呂間町教育委員会教育長の給料額及び旅費額並びにその支給条例の一部を改正する条例制定について

職員給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について

人事院勧告に基づき、公務員給与と民間給与の格差を解消するため特別職及び一般職の期末手当の支給月数を0.

35月引き下げのための条例の一部改正を行いました。

決議

佐呂間厚生病院に関する特別委員会設置に関する決議について

佐呂間厚生病院の医師確保、建て替え問題等を検討するため特別委員会を設置する決議が提案され、全会一致で可決されました。

同日、議長を除く9名の委員による特別委員会が設置され、委員長には加賀屋委員、副委員長には三田委員が選任されました。

議会ニュース

・総務福祉常任委員会現地調査

老朽化で擁壁等の補修を
することとした忠魂碑



老朽化により解体される
こととなった旧格技館

10月22日所管事務調査終了後、現地調査を実施しました。
現地調査箇所
・旧格技館及び忠魂碑

**総務福祉
常任委員会**

**常任委員会で
現地調査を実施**

12月2日総務福祉常任委員会終了後、現地調査を実施しました。

現地調査箇所

- ・若佐テレビ中継局地デジ送受信整備工事
- ・ふれあいインサロマ地域共生安心ハウス補助事業
- ・サロマ斎場火葬炉補修
- ・はな佐呂間スプリングラ―整備事業
- ・ケアハウス増築事業
- ・老人福祉センター
- ・ホワイトドーム

若佐テレビ中継局

(地デジ送信所)



スプリングラ―を整備した
「はな佐呂間」



ふれあいインサロマ
(地域共生安心ハウス)



ホワイトドーム



老人福祉センター



議会ニュース

・産業文教常任委員会現地調査

産業文教 常任委員会

10月23日所管事務調査終了後、現地調査を実施しました。

現地調査箇所
・若里漁港



若里漁港に建設中の
養殖作業施設

12月4日産業文教常任委員会終了後、現地調査を実施しました。

現地調査箇所

- ・スクールバス購入事業
- ・道管土地改良事業
- ・町有林素材生産事業
- ・総合体育館・入キー場
- ・佐呂間中学校
- ・佐呂間市街南道路外3道路整備事業
- ・浜佐呂間小学校



今年度新たに購入された
スクールバス2台

中園にある町有林の
素材生産事業



耐震改修により柱が補強
された佐呂間中学校体育館



舗装が新しくなった
佐呂間市街南道路



パソコンが更新された
浜佐呂間小学校



《 記 載 例 》

(表紙)

(本文)

に関する

請 願 書
(陳 情 書)

紹介議員 印

に関する請願 (陳情)

要旨

理由

平成 年 月 日

佐呂間町議会
議長 殿

佐呂間町字 町 番地
印

陳情書の場合、紹介議員は不要です。

請願・陳情は国、道、町政に住民の皆さんの意見や要望を反映させる一つの方法で、個人、団体を問わず誰でも提出することができます。

請願と陳情について

議会だよりに対するご意見・ご感想を

お寄せ下さい!



--- 議会事務局宛て ---

TEL 2-1291

Eメール

gikai@town.saroma.hokkaido.jp

議会を傍聴してみませんか!!

第1回定例会は3月に開催されます

詳しくは議会事務局にお尋ねください



あとながき

「世相雑感」

60年前の老人病と言えば「あたったんだとさア」と囁かれた「中風」という病氣。脳梗塞と高血圧、認知症と糖尿病が混ざり合った様な病だったと記憶している。

それにしては近年、認知症を病む高齢者の増加には目を見張る思いだ。赤ん坊からお年寄りまでが一緒に暮らした時代、貧しくはあったがそれぞれに役割を持ち、いつまでも支えあう家族がいた。老いることへの孤独感も死に対する不安感も今日ほど深刻ではなかった気がする。

多様化する社会に追いつけずその存在感を失いつつある高齢者、年々進む核家族化のひずみの中で気力、体力、経済力がさらに不安や孤独感に拍車をかけている。認知症に、ここを起因とする要素はないだろうか。

心からのいたわりと
微笑みを持つと
やがて行く道じやもの

広報特別委員長 高瀬トシエ

発行

佐呂間町議会

編集 議会広報特別委員会

〒093-0592 北海道常呂郡佐呂間町字永代町3番地の1
TEL 01587-2-1291 FAX 2-3368 (役場兼)